

議 案 審 議

一般会計予算や条例の一部改正などに対する
質疑応答の内容を、要約して紹介します。

令和元年度平田村一般会計歳入歳出決算の認定について

◆予備費の流用について

高橋七重議員

予備費1千万円のうち、265万円が4つの事業に流用されている。しかし、決算書では詳細が分からない。補正予算書にも記載がない。なぜか。

総務課長

予備費は予期しない予算外の支出や予算計上額不足の場合に充てることができる。予備費の適用欄に款項目・金額を記載している。なお、予備費流用は補正予算ではないので、予算書は作成しない。

再問 高橋七重議員

何に使われたのかは丁

◆災害復旧費について
三本松和美議員

台風19号災害による未復旧箇所と、今後の対応は。また、未復旧箇所の経過観察対応しているところは、どのような基準に基づくのか。

地域整備課長

被災箇所全体数の把握は困難。個人で復旧するものも含まれており、全てを村で復旧するものではない。基準ではなく、経過観察し日常生活への影響や緊急性を考慮し、状況に応じた対応をしている。

◆財政について

三本松和美議員

実質公債費比率と将来負担比率の資料を出していないがどうしてか。

① 中学校建設、こども園建設、台風19号災害復旧のために財政調整基金を取り崩したため。

② 大規模災害等による基金の大規模な取崩しが必要れば、令和2年度は黒字になる見通し。

③ 標準財政規模額に対する地方債の現在高の割合が、5年前よりも約60%高い状況をどのように考えているのか。

総務課長

① 常任委員会からの資料交付申請により、定例会再開日前に交付した。

② 標準財政規模については、標準税収入額等と普通交付税を合わせたものであり、経常経費と比較できない。

③ 標準財政規模に対する地方債残高の割合も比較できるものではない。

再問 三本松和美議員

① 積極的議論をするには、重要な内容の資料は議会に提出すべき。

② 標準財政規模額は村の財政力。経常経費は必ず必要な経費。健全財政と言っているが、3年連続経常経費が財政力を上回っている。

③ 標準財政規模額と地方債残高の割合については、知られている雑誌社でも資料として掲

載している。

総務課長

村財政の指標については、経常収支比率で比較しないと他町村との比較はできない。

◆討論

反対 高橋七重議員

台風19号災害での住民に寄り添った対策は評価する。一方、観光振興を望む住民の声は6、7%と少ないにも関わらずジュピア開発に前のめりの予算執行、定住人口に繋がる住宅政策や農業政策は置き去りのまま。ジュピア開発は本村の財政規模に合ったものにする

賛成 永瀬成元議員

台風19号災害で農家等の小規模災害に対し村単独で対応できたこと、交流人口増加のための経費投入は適切。

反対 三本松和美議員

ジュピアランドひらたの運営費・芝桜まつり実行委員会による会計処理に問題がある。また、ジ

ユピア駐車場用地の高額買収で住民監査請求があった際、後付けの鑑定依頼を予備費で対応し、補正予算の予備費に計上せず、議会に分からないようにしていた点は問題。

賛成 佐藤孝雄議員

生活道路の整備、教育、台風19号災害復旧に対し積極的に執行したこと、費用対効果を第一に考え、住民福祉を最重点に確実に執行した点を評価する。(採決 賛成9、反対2)

令和2年度平田村一般会計補正予算(第5号)について

◆密集軽減のための輸送能力増強事業(中型バス購入)について

高橋七重議員

① バスの増台は良い。だが、なぜマイクロバスではなく、中型バスとしたのか。

② 3密回避のほかになんか点を考慮したのか。

再問 総務課長

① 経費の削減に努める

ため。

(元年度実績) マイクロバス163回。そのほか、バス借り上げ39回・約244万円を支出している。)

② 利用者の安全性、利便性、乗り心地の向上、排出ガス規制に適合し環境へ配慮されたもの。

再問 高橋七重議員

駐車場や車庫の整備で予定外の支出が必要となる。台数を増やし利便性を図るなら、マイクロバスの方が良いのではないかと。

答 総務課長

車庫は永田小プール跡地等を更地にして、できるだけ経費のかからないものを提案する。

問 三本松和美議員

バスのグレードを下げ、その分の経費を学校給食費無料化として計上してはどうか。

答 総務課長

せっかくの機会なので、

いいものと考えている。これまでも、村独自の支援で負担は軽減されているので、せめて給食費の半分は保護者に負担いたしたい。

再問 三本松和美議員

新型コロナウイルスの交付金は、村民に対する対応が基本と考える。給食費の無料化は議会でも要望している。

答 村長

スポ少等、利用団体の拡大も考えている。

これは、考え方の相違以外の何物にもない。

◆指定避難所・一時避難所のコロナ感染予防対策について

問 高橋七重議員

勤労者体育センターや小・中学校に避難となった場合、冷房なしの体育館で過ごすことができるのか。それぞれの体育館にエアコンの設置はできないか。

答 総務課長

換気・暑さ対策として

勤労者体育センター全ての窓に網戸を設置し、大型扇風機4台を購入予定。体育館へのエアコン設置は、動力設備の更新等の財政的な負担が生じる。

◆子育て世帯への子育て支援金給付事業について

問 高橋七重議員

「世帯・アルバイトの収入減により、学生生活の継続に支障をきたしている学生の支援を図る」とあるが、全学生が対象となるのか。

答 健康福祉課長

対象は保護者等が本村に住民登録があり、県内に住む専門学校・大学・予備校等に在学する全ての学生。

◆商工観光費(委託料・原材料費)について

問 三本松和美議員

蓬田岳登山道整備、ジュピアのトイレ改修に係る事業費を、別なコロナ対策費として計上してはどうか。

答 総務課長

財源のほとんどは新型コロナウイルスの交付金で実施する事業である。

答 村長

提案している予算は、最上のものと強い思いで提案している。

◆指定寄付について

問 三本松和美議員

芝桜まつり実行委員会による会計処理からの寄附は440万円とみている。そこで、実行委員会による会計処理を見直し、村の一般会計で行うべき。

答 産業課長

実行委員会にはイベント運営をお願いしている。その運営で生じた余剰金を村に寄附金として処理している。

再問 三本松和美議員

法人化した場合、事業は成り立つのか。

答 村長

法人化は進めたい。法

人化後も、イベントは一般住民等による実行委員会への委託を考えている。ジュピアランドの整備、維持関係と実行委員会によるイベントを一緒に考える話ではない。法人化すれば委託料を出して行う。

◆反対 高橋七重議員

議会からの要望も計上され、ほっとしているが、避難所機能を持つ体育館のエアコン設置は、中型バス購入よりも優先されるべき。コロナ禍において日々の生活や仕事面で不安定な状況に置かれている住民がいる中で、ジュピア関連事業の予算の使われ方が、住民の理解を得られるとは思わない。

◆賛成 太田清実議員

コロナ対策の多岐にわたる予算・事業の優先順位が考慮されている。

◆反対 三本松和美議員

コロナの交付金はできるだけ影響を受けている村民に対応すべき。給食費の無料化が認められないので反対する。

◆賛成 阿部 清議員
未だかつて経験したことがない状況の下、短期間で予算が計上された。村、議会、住民が一体となってコロナ対策に英知を絞るということから見れば、反対する要素はない。

(採決 賛成8、反対3)

賛否の分かれた議案	結果	原案可決
令和元年度平田村一般会計歳入歳出決算の認定について	三本松 ×	×
令和2年度平田村一般会計補正予算(第5号)	三本松 ×	×
	遠藤 ○	○
	荒川 ○	○
	阿部 ○	○
	上遠野(健) ○	○
	佐藤 ○	○
	高橋 ×	×
	上遠野(廣) ○	○
	水野 ○	○
	永瀬 ○	○
	太田 ○	○

○…賛成 ×…反対 ※議長は採決に加わりません。